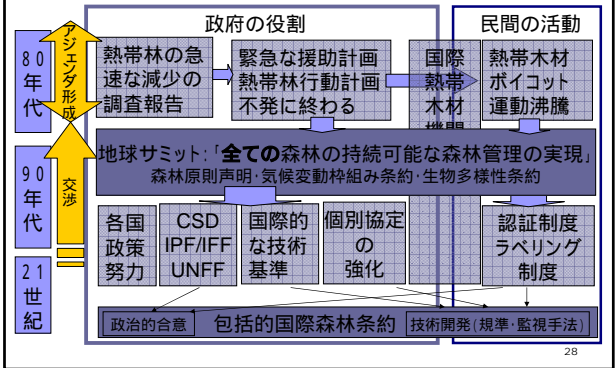


持続可能な森林管理と 違法伐採対策の意義・ 課題

27

森林管理レジームの形成過程



28

地球規模の森林管理問題の現時点

- 木材と森林が循環社会の主役となるために不可欠な地球規模での持続可能な森林管理の取り組みは、他の地球環境レジームと比べて途上国の参画など大きなハードルがある。
- 経済と政治のグローバル化が、森林管理のグローバル化(森林管理レジーム形成)を迫っている。

29

違法伐採問題の 森林管理レジームの中での位置づけ

- 首都において立案・審議される森林法制は、地球環境問題の議論や国際的な世論の動向に規定され、施行に係る人的・資金的な行政コストが十分に検討されないまま決定されることがある
- 森林法の施行の現場は首都から遠隔地となり、地方における行政機関、森林開発に当たる当事者などきわめて少数の関心下で実施され、立法趣旨との間でギャップが生じ、放置される可能性を持っている
- 違法伐採問題は、森林政策に対する関心が、既往の関係者から、地球環境に関心を持つ都市の市民へと急速に拡大する過程での、必然的に生じたもの
- この問題への取り組みは、「持続可能な森林管理へいたる重要なステップである」(グレンイーグルスサミット)

30

ガイドラインの意義と課題

- 森林認証システムが開発した「木材の生産地点の管理情報を物流・商流のシステムを使って消費者に伝える(CoC)」の新しい形をつくった。
 - 信頼性の評価はこれから
- 「持続可能性」については有効な定義を提示していない。
 - 「持続可能な森林経営が営まれている森林から産出されたものであること」
- 「持続可能な森林管理」と「森林施業計画」の関係がとわれることになる

31

まとめ

- 地球環境の現時点と環境に優しい木材
 - けっこう重篤、地球の健康
 - 健康回復のカギをにぎる循環資源として木材
- 「エコマテリアルである木材」と違法伐採問題
 - 違法伐採問題は「エコマテリアルである木材」を主役にするハードル
- 持続可能な森林管理と違法伐採対策の意義・課題
 - 違法伐採問題は持続可能な森林管理への第一歩
 - 合法木材を通じて、森林法、森林管理の現場に関心がひろがる
 - 日本の森林関係者にとっても海外の森林管理情報を知るチャンス

32